

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月1日

事業所名 しあわせ駅北中城

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		雨天時には過ごせるスペースが限られてくるので、レイアウトをさらに工夫して児童が過ごしやすい空間作りに努めたいと思います。	
	2	職員の配置数は適切である	5			配置基準は満たしているが、指導員同士休みが重なったり、急な休みが出た場合でも対応しやすい人数を確保する必要があると思います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	玄関スロープやトイレ内手すりは配置しております。	利用児童全員が分かりやすいように構造化して、過ごしやすい環境を整えていきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		室内、児童の玩具等も日々清掃や消毒作業を行っております。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	常に職員間で話し合いを行っております。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	保護者の評価を参考に改善している途中で	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	事業所ホームページに掲載しております。また、頂いたご意見を職員ミーティングで共有して、業務改善につなげるよう努めたいと思います。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		現在改善中です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	3		研修の機会が少なかったため、今後は定期的に研修会を設けたいと思います。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		本人や保護者の思いを踏まえながら、無理のないスモールステップで成長につながる支援ができるよう心がけてまいります。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	規定のアセスメントシートを利用しています。	年齢別や特性別のツールがあるとより良い支援を出来ると思うので、作成にも力を入れていきたいと考えております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1	具体的にわかりやすい支援内容の作成を行い、本人やご家族の負担になりにすぎない達成目標を一緒にサポートしていけるよう努めていきます。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		アセスメント内容を参照しながら、個別取り組みを組み合わせることで本人に適した支援を引き続き行えるよう努めてまいります。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	担当職員がリーダーとなって行事計画案を作成しております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	季節や利用時間を考慮しながら室内外での活動を計画し、児童の発達課題に応じた課題取り組みを設定できるよう心がけております。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		当事業所の特徴である個別レッスンの時間を用いて、本人の個別課題に取り組みやすい体制を作っております。各イベントや外出支援では、集団活動やコミュニケーションスキルの向上などを目標とした支援を心がけております。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	活動計画を作成して話し合いを持ち、全職員が確認して支援を行っております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	活動の振り返りをして見えた課題を話し合い、次回の支援につなげられるよう活動報告書を作成しております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		日々の記録は個別支援記録に基づいた視点で内容を記録し、サービス提供時間後に必ず行っております。より良い支援に繋げていくためにも職員同士での情報共有など徹底して行いたいと思います。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		更なる成長をサポートできるよう、引き続き定期的なモニタリングを行ってまいります。		
関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達支援管理責任者の他にも、児童保護者が話しやすい職員も参加できるよう調整を行っていきたく思います。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		担当者会議やサービス更新時のモニタリングで療育センターや地域の子ども福祉課等と連携を図っております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2		対象児童の利用が無い為、現時点では行っていませんが、必要に応じて対応していきたいと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3		対象児童の利用が無い為、現時点では行っていませんが、必要に応じて対応していきたいと思います。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	送迎時の申し送りや担当者会議等で児童の近況を報告しあい、今後も継続的な支援ができるよう心掛けてまいります。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		担当者会議等で相談支援専門員と共に情報共有出来る場を設けております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		研修等の機会があれば、今後ぜひ全職員が参加できるよう体制を整えていきたいと思えます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4		コロナウィルスの影響があり自粛していましたが、今後は感染対策をして出来る限り交流の場を運びたいと考えております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		まだ不参加。今後参加の機会を作りたいと思えます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		5	連絡帳や送迎時の申し送りで子ども達の様子をお伝えしながら、ご家庭での様子もお聞きできるような保護者とのコミュニケーションを大事にしていきたいと思えます。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	1	4		職員も勉強会や各研修に参加して、自宅で取り入れられるペアレントトレーニングを保護者の皆様に提供出来るように努めてまいります。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に書面と口頭で説明を行っています。契約時以降に説明を求められる場合にも対応いたします。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		きちんと説明を行った後、同意を得ております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		連絡帳や送迎時の申し送りで子ども達の様子をお伝えしながら、ご家庭での様子もお聞きできるような保護者とのコミュニケーションを大事にしていきたいと思えます。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		今回はコロナウィルス感染予防の為に保護者会等を控させていただきましたが、状況が落ち着きましたら親子交流会の開催を行ってきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		ご相談を頂いたときには、職員でミーティングを行って今後の方針や改善策を話し合い、真摯に対応できるように努めております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	SNSを利用して素早い周知対応が出来るよう心掛けております。今後は、ホームページ更新にも力を入れて保護者の皆様へ情報をいち早くお伝えできればと考えております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人ファイルや記録等、鍵付きのロッカーに保管しております。また、就業時間外に持ち出しが出来ないよう職員に周知徹底を図っております。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		特性を考慮しながら本人が理解しやすい言葉を用いたり、写真やイラストを添えて説明を行うよう心掛けております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		今回はコロナウィルス蔓延の為に開催出来ませんでした。今後は、状況が落ち着いたら子ども連帯のイベントを開催して地域住民の皆さまとの交流が出来ればと考えております。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	マニュアルを策定し職員間では周知して、保護者向けにマニュアルを配布したいと思えます。今後は緊急事態に備えた訓練等を強化して行ってきたいと思います。	
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		既定の避難訓練に加え必要な防災・防犯訓練を行い、取り組んでいきたいと思えます。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		アセスメントで必ず確認を行っております。病院受診後は必ず経過報告や服薬状況も併せてご家族に確認を行っております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	アセスメントで頂いた情報をもとに、おやつや食育の活動を考えております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	事業所内のヒヤリハット文書はその都度作成して、いつでも職員が見られるようにしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		事業所内の勉強会を開催しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2		対象児童無し。身体拘束に関する注意事項等はマニュアル化しています。今後、身体拘束を必要とする児童がいる場合は、作成したマニュアルのもと行うことを全職員周知徹底してまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。